

10月8日～11月30日

「元氣かばいくまもと！熊本地震写真・記録展」 写真と記録 しらいしみほ

4月の熊本地震。

岐阜新聞の記者さんが「オーナーさんは熊本出身だとか？何か出来ることはありますか？」とすぐに駆けつけてくれたのをきっかけに大垣周辺の方から、風地蔵を拠点にして支援物資がたくさん届き、太宰府の私の元へ幾度も送られてきました。

まだ運送会社もはからない「熊本」へ  
ふるさとなので抜け道と物資を直接わたして欲しいの声に届け先を探し探して運びました。

地震直後最初にはいった熊本は地震の被害はもちろん、警察車両と、自衛隊、消防車両、  
が連なる異様な光景を目にし、そのときは写真展をしようなんて思っていなかったのですが、  
この現状を 少しでもとりとめておきたいと、遠慮がちに少し写真に収めたところから  
エピソードを交えた写真展をする運びとなりました。

写真展をしてほしい！の声は聞いていたのですが  
「NO！」と スタッフに伝えてありました。

まさか、まさかの気持ちでした。

しかし、6月の終わりから物資を運ぶだけでなく 阿蘇に行きたい思いで家族と出掛け始めたのを  
きっかけに 7月、8月は 南阿蘇、長い付き合いの黒川温泉を中心に「九州ふっこう割」をつかって  
寄付のつもりで泊まりがけででかけた日帰り日帰りで通行止めの 迂回路を いろんな道からすべ  
て回って元気に営業している店に 立ち寄ったりして写真をとり集めてきました。

すると そこには人！が 映るんです。  
まだ 大回りをしないと行けない南阿蘇に車がまばらなときも道の駅で、カフェで、パン屋さんで、  
温泉地で笑顔で 頑張る人が いたんです。

地震の話せずにかき氷が美味しいってことや地元の話をするごとに私の気持ちも かわって  
きました。

いま、わたしにできること。

スタッフや 最初に携わってくださった記者さんに相談して今日の運びとなりました。

第一に 懸命に 九州を、熊本を心配してくださってたくさんの心を寄せてくれた方達に恩返しをするにはこの写真をきっかけに持ってきて下さった方達の ストーリーを私たちが逃さず聞くことだと思います。

被災の写真は少しにして  
くもと・阿蘇が元気だって写真展をやります。  
270枚の写真とそれにまつわるエピソード。

みなさんの 思いを 寄せて下さい。

しらいし みほ

10月8日からのギャラリー  
「元気かばい！熊本地震写真展」の準備を全員でしました。  
社長が地震が起きた瞬間からの毎日を綴った記録をすべて読みました。  
なんと1時間半かかりました。  
これはぜひ皆さんに写真を見ながら読んで頂きたいと思いました。

地震直後から物資や寄付を届けて下さった方達にご連絡しました。

九州出身の方名簿へも写真展チラシと一言のお手紙を入れ100枚郵送します。

270枚の写真の展示と  
その日に 書き留めたリアルなエピソードもパウチして読めるようになっています。

九州 熊本地震の写真の展示会の準備が終わりました。  
すべて貼れなかったのですが 245 枚の写真と、社長が書かれた手記を思い出しながら展示しました。  
シャッターを切られたときの思いが伝わります。  
被災した写真もですが、今元気な熊本の写真の方が多いです。  
多くの方にみていただきたい、そう強く思います。

おーはし。

姉妹でスマホで探してきて下さいました。

ちょうど 熊本地震写真展の準備をしていたので一足先に びっしりと 感想をかいて下さっていました。熊本出身だそうです。

## HARA

地震展の写真を展示しながら

270枚すべて貼れずに

でも、写真を見るとその時の状況が浮かび、思いを馳せながら 皆で話し合っって貼っていきました。大勢の方にみていただきたいです。

久しぶりの来店のお客様！

準備が終わった写真展を観て、「美帆さんらしいね！」と感慨深そうにつぶやかれました。

ツイッターのやりとりをしているお客様も

これって ダレが撮ったの？

カメラは何？と リアル分も読みながら

ものすごく興味を持たれました。

動画の説明しますね。

熊本の写真展、白テーブルのところ 黒川温泉に向かう途中、  
まだ爪跡が残っています。

日奈久温泉 真ん中の廊下

真ん中の部屋、

ここは被災して最初に熊本入りした頃

ソファ席 ここは復興割りで

南阿蘇から黒川温泉に

玄関から廊下は三カ月たった7月の熊本 まだ爪跡が残ったままです。ここは、すべて展示しよう  
と思いました。

今日もたくさんの思いを聞かせてもらいます。

かまざわ。